

経営比較分析表（平成29年度決算）

秋田県 上小阿仁村

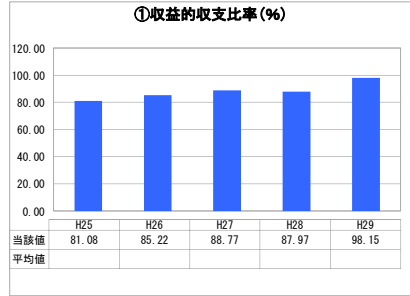
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	40.96	90.00	3,705

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,375	256.72	9.25
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
965	0.57	1,692.98

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



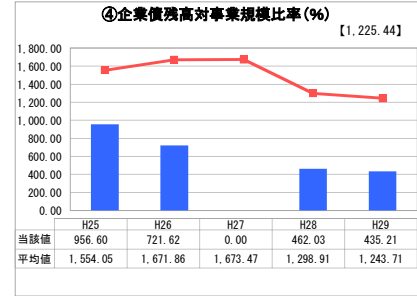
「単年度の収支」



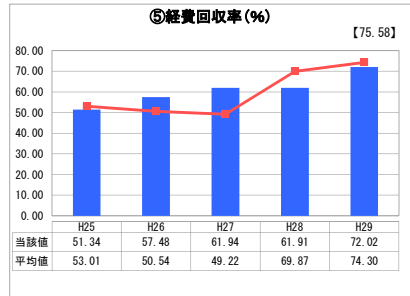
「累積欠損」



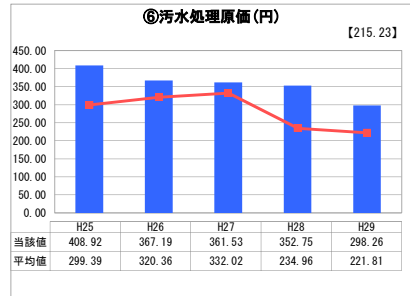
「支払能力」



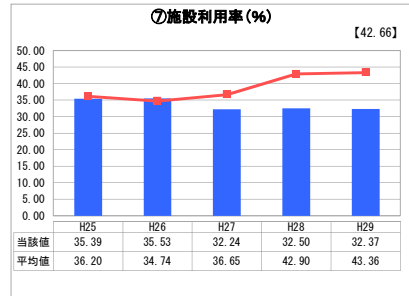
「債務残高」



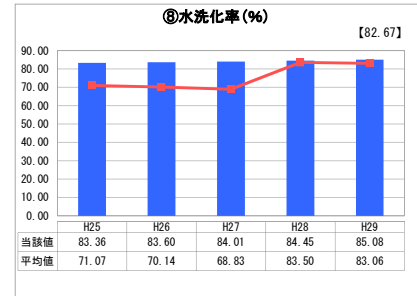
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

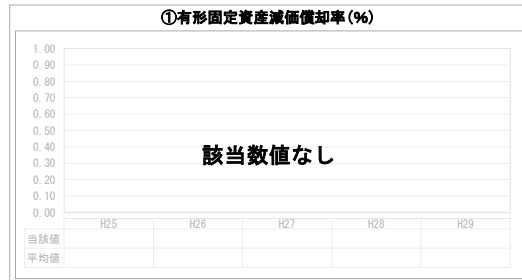


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

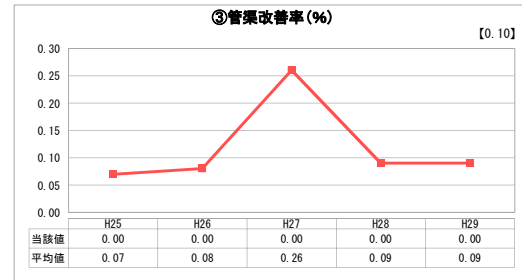
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

財源構成は、歳出総額に対する使用料収入が占める割合が約4.2%ほどに留まり、残り約5.8%を一般会計繰入金で賄われ、主に償還金及び人件費に充てられている。

収益的支出比率は、基準外繰入金の増加等により前年度から約10.2%増加した。経費回収率は約10.1%増加したものの、全国及び類似団体平均値を僅かに下回った。

汚水処理原価は前年度より約54.5円減少したが、全国及び類似団体平均値より依然として高い数値となっており、施設稼働率はほぼ横ばいの32%と平均値を大きく下回った。

平成25年度の料金改定により使用料単価は3,705円/20m³となり県内の他自治体と比べて高い設定となっているものの、施設稼働率が低いため汚水処理原価が高く、汚水処理費が高んでいる。

2. 老朽化の状況について

平成13年度の供用開始から15年以上経過しているが、管路は耐用年数からみても当面更新する予定はない。

施設関係については、更新時期を迎えていることから、修繕計画に基づき、財政負担が集中しないよう、中長期的に更新を進めていく。

全体総括

大きな事業が無く償還金が減少し、基準外繰入金の増加により一部項目で改善が見られたが、一般会計からの繰入金に依存する体制は変わっていない。

人口減少による使用料の減少が見られるが料金改正からそれほど時期が経過しておらず、値上げは現実的に難しいため、今後も厳しい運営状況となる見通しである。

そのため、施設や機器の更新については長寿命化などの措置を講じながら、集中的な財政負担を避けて修繕計画に基づいた計画的な更新を進める。

平成30年度から隣接する農集施設との統合計画が始まる等、施設利用率の改善を図りつつ、効率的な事業運営を進めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。